江戸時代

名前

問1　江戸時代初期、徳川家康は海外への渡航を許可する証書を発行して貿易を保護・奨励しました。多くの日本人が東南アジアへ渡り、各地に日本町が形成されるきっかけとなった、この貿易の名称は何ですか。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 日宋貿易
2. 勘合貿易
3. 朱印船貿易
4. 南蛮貿易

問2　フランス革命の最中に発表され、自由・平等や私有財産の不可侵、国権在民などを唱え、近代民主主義の指針となった文書の名称として適切なものを選択してください。（2016年 京都府公立入試 類似）

1. 独立宣言
2. 権利の章典
3. マグナ・カルタ（大憲章）
4. 人権宣言

問3　江戸時代の長州藩における銀支出の内訳を記した史料によると、藩内での経費が約54パーセントであるのに対し、江戸での経費が約37パーセント、その他が約9パーセントとなっています。このように、大名が江戸と領地を一年おきに往復する制度によって生じた多額の経済的負担について、幕府の狙いとして最も適切な説明はどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 大坂の蔵屋敷を通じた米の売買を大名に強制し、その手数料を徴収することで、幕府の財政を安定させるため。
2. 京都の朝廷を警護するための費用を大名に負担させ、武家が公家を圧倒していることを示すため。
3. 長崎での海外貿易の管理を大名に交代で担当させ、貿易利益を幕府が独占する仕組みを維持するため。
4. 参勤交代によって多額の旅費や江戸滞在費を支出させ、大名の経済力を削ぐことで、幕府に対する反乱の力を抑えるため。

問4　1600年代の出来事を整理した年表において、1635年の「日本人の海外渡航・帰国の禁止」や、1639年の「ポルトガル船の来航禁止」といった対外政策の強化を行い、鎖国体制を完成させたとされる人物は誰か。（2025年 愛媛県公立入試 類似）

1. 徳川慶喜
2. 足利義満
3. 徳川家光
4. 豊臣秀吉

問5　江戸幕府は1641年、平戸の商館を長崎の人工島である出島に移し、ヨーロッパの中で唯一、特定の国にのみ貿易を許可しました。このとき貿易を許された国と、その国が幕府に海外情勢を報告するために提出を義務付けられた書類の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 三重県公立入試 類似）

1. オランダ ― オランダ風説書
2. イギリス ― 海外事情届
3. ポルトガル ― 南蛮風説書
4. スペイン ― 航海日誌

問6　近世（安土桃山時代から江戸時代）の文化に関する記述として、正しいものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 兼好法師が、無常観を記した随筆『徒然草』を著した。
2. 紫式部が、貴族の生活を描いた『源氏物語』を著した。
3. 雪舟が、中国で学んだ水墨画を日本で大成させた。
4. 滝沢馬琴が、長編小説である『南総里見八犬伝』を著した。

問7　江戸幕府の幕藩体制において、将軍家と血縁関係にある徳川一門の大名の呼称として正しいものはどれですか。会津若松の松平氏や、尾張・紀伊・水戸の徳川家などがこれに該当します。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 旗本
2. 親藩
3. 譜代大名
4. 外様大名

問8　江戸幕府が参勤交代の制度を維持し続けた背景には、大名の軍事的な勢力を抑える目的がありました。その仕組みを、経済的な観点から説明したものとして適切なものを選んでください。（2017年 高知県公立入試 類似）

1. 領地の特産品をすべて江戸で安く販売させ、藩の収入を幕府の財政に組み入れるため
2. 大名が江戸に滞在している間、その領地の検地を幕府が自由に行えるようにするため
3. 大名に多額の費用を負担させることで蓄えを減らし、軍備を整える余力を奪うため
4. 江戸の商人に多額の税を課すため、大名を無理やり江戸の市場に参加させるため

問9　江戸時代の農業において、収穫作業を効率化させ、生産量の増大に寄与した技術的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 鳥取県公立入試 類似）

1. 「千歯扱き」と呼ばれる農具が登場したことで、それまでの扱竹（こきだけ）に比べて脱穀作業の効率が飛躍的に高まった。
2. 「惣村」と呼ばれる自治組織が、高床倉庫を共同管理することで、収穫した米の長期保存と安定供給を実現した。
3. 「口分田」の制度を廃止して農地の私有化を認めたため、農民が自発的に灌漑用水路を整備するようになった。
4. 「石包丁」が改良されて全国に普及したことで、一度に大量の稲を収穫することが可能になった。

問10　1603年に徳川家康が将軍に任命された後の江戸時代初期、幕府が特定の商人に海外渡航の許可状を与えて行わせた貿易を何と呼びますか。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 南蛮貿易
2. 勘合貿易
3. 日宋貿易
4. 朱印船貿易

問11　江戸時代に行われた朝鮮通信使の派遣の背景や、その目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 茨城県公立入試 類似）

1. 徳川幕府が対等な立場の国交として位置づけ、将軍の代わり目などの祝賀と幕府の権威を国内外に示すために行われた。
2. 長崎の出島に居住する外国人が、年に一度、幕府への感謝を伝えるために江戸へ参府する制度として確立された。
3. 中国の明や清との貿易を独占することを目的として、幕府が直接的に外交ルートを管理するために組織された。
4. 薩摩藩を通じて幕府に服属した地域の使節が、日本の将軍の代替わりごとに忠誠を誓うために派遣された。

問12　田沼意次が商人に対して株仲間の公認を進め、幕府財政の再建を図った理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 宮崎県公立入試 類似）

1. 都市に流出した農民を商人に転職させ、商人の数を増やすことで農業生産力を向上させようとしたから。
2. 米の生産量が大幅に減少したため、農民からの年貢徴収を全面的に廃止して商業税だけに頼ろうとしたから。
3. 商業活動の発達に伴い、商人から冥加金などの税を徴収することで、幕府の新たな財源を確保しようと考えたから。
4. 外国からの貿易収入が増加したため、国内の商業を規制して幕府の貿易独占権を強化する必要があったから。

問13　江戸幕府はキリスト教の布教を防ぐためにキリスト教国との交流を厳しく制限しましたが、ヨーロッパの国の中で唯一、布教を行わないことを条件に長崎の出島での貿易を許された国はどこですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. ポルトガル
2. イギリス
3. スペイン
4. オランダ

問14　1616年から1641年にかけて、幕府は来航地の制限や特定の国の船の来航禁止を段階的に進めました。この過程において、1637年に九州で発生し、幕府がキリスト教への警戒をいっそう強めて禁教政策を徹底する決定打となった出来事は何ですか。（2018年 静岡県公立入試 類似）

1. 和宮降嫁
2. 島原・天草一揆
3. 生麦事件
4. 大塩平八郎の乱

答え合わせ・解説

問1	答え 3 朱印船貿易	徳川家康は、海外渡航許可証である「朱印状」を与えて貿易を保護・奨励しました。これにより日本人が東南アジア各地に進出し、日本町が形成されました。選択肢の「勘合貿易」は室町時代に明との間で行われた貿易、「日宋貿易」は平清盛などが推進した宋との貿易です。
問2	答え 4 人権宣言	革命の勃発後、1789年に国民議会によって採択されたこの文書は、人間が生まれながらにして自由かつ平等の権利を持つことを示しました。イギリスの権利の章典やアメリカの独立宣言の影響を受けつつ、封建的な特権の廃止を決定づけました。マグナ・カルタは13世紀のイギリスで王の権限を制限した文書です。
問3	答え 4 参勤交代によって多額の旅費や江戸滞在費を支出させ、大名の経済力を削ぐことで、幕府に対する反乱の力を抑えるため。	徳川家光によって武家諸法度で制度化された参勤交代は、大名に江戸と領地を一年おきに往復させるものでした。長州藩の支出データが示す通り、江戸での滞在費や道中の旅費は藩の財政を大きく圧迫しました。この制度には、大名に多額の経済的負担を強いることで、軍事力（戦費）を蓄えさせず、幕府への反乱を防止するという政治的な意図がありました。また、大名の妻子を人質として江戸に居住させたことも、統制を強める大きな要因となりました。
問4	答え 3 徳川家光	徳川家光は、キリスト教の禁止を徹底し、幕府が貿易を完全に管理することを目指しました。1635年に日本人の海外渡航と帰国を禁止し、1639年には島原・天草一揆の影響もあってポルトガル船の来航を禁止したことで、日本は中国（明・清）とオランダのみと限られた窓口で交流する鎖国体制へと入りました。
問5	答え 1 オランダ ― オランダ風説書	江戸幕府はキリスト教の布教を警戒し、1639年にポルトガル船の来航を禁止しました。1641年にはオランダ商館を平戸から長崎の出島に移し、オランダを唯一のヨーロッパ貿易国としました。幕府は鎖国下でも海外の情報を把握し続けるため、オランダ商館長に対し、船が来航するたびに「オランダ風説書」を提出させて世界の情勢を報告させました。
問6	答え 4 滝沢馬琴が、長編小説である『南総里見八犬伝』を著した。	江戸時代後期の化政文化期において、滝沢馬琴は『南総里見八犬伝』などの読本と呼ばれる長編小説を著しました。『源氏物語』は平安時代の国風文化、『徒然草』は鎌倉時代の文化、雪舟の水墨画は室町時代の東山文化に関連する事項であり、いずれも近世（江戸時代など）の出来事ではありません。
問7	答え 2 親藩	徳川氏の親族である大名は親藩と呼ばれ、幕府を支える重要な存在として各地の要所に配置されました。これに対し、関ヶ原の戦い以前から徳川氏に従っていた大名は譜代大名、戦い以後に従った大名は外様大名と呼ばれ、配置場所や幕政への参画権限に違いがありました。
問8	答え 3 大名に多額の費用を負担させることで蓄えを減らし、軍備を整える余力を奪うため	参勤交代は、大名の妻子を人質として江戸に住まわせる精神的な拘束だけでなく、経済的な拘束としての側面も持っていました。大名行列にかかる莫大な旅費や、華美な江戸での生活費が藩の財政に重くのしかかりました。これにより、藩が独自に軍隊を強化したり、城を改修したりする資金を捻出できないようにし、幕府による長期的な安定支配を実現しました。
問9	答え 1 「千歯扱き」と呼ばれる農具が登場したことで、それまでの扱竹（こきだけ）に比べて脱穀作業の効率が飛躍的に高まった。	江戸時代には元禄文化の頃を中心に農業技術が大きく発展し、千歯扱きの普及によって脱穀の効率が劇的に改善されました。石包丁や高床倉庫は弥生時代、口分田は律令制（古代）、惣村による水路管理などは主に中世の特徴であり、時代背景が異なります。
問10	答え 4 朱印船貿易	江戸幕府は、将軍の公印である朱印が付された「朱印状」を海外渡航の許可証として発行しました。これを持った商船が東南アジア各地と行った貿易は朱印船貿易と呼ばれます。室町時代の勘合貿易とは、用いた許可証（勘合）が異なる点に注意が必要です。
問11	答え 1 徳川幕府が対等な立場の国交として位置づけ、将軍の代わり目などの祝賀と幕府の権威を国内外に示すために行われた。	江戸幕府は鎖国政策の下でも、特定の国々とは公的な外交関係を維持していました。特に朝鮮とは対等な礼を尽くす「通信」の国として、対馬藩を介した国交を結んでいました。通信使の華やかな行列は、街道の人々に幕府の外交的な安定と権威を知らしめる象徴的なイベントでもありました。
問12	答え 3 商業活動の発達に伴い、商人から冥加金などの税を徴収することで、幕府の新たな財源を確保しようと考えたから。	当時、商品経済の発達によって幕府の従来の主要な財源であった年貢（農業収入）だけでは財政が立ち行かなくなっていました。そこで田沼意次は、幕府の財政を再建するために、商人の営業特権を認める代わりに税を納めさせる仕組みを作り、商業の発展を幕府の財政に結びつけようとしました。
問13	答え 4 オランダ	幕府は1639年にポルトガル船の来航を禁止し、1641年に平戸にあった商館を長崎の出島に移転させることで、鎖国体制を完成させました。この国は幕府に対し、キリスト教の布教を目的とせず貿易に専念することを誓ったため、ヨーロッパで唯一の交渉国として認められました。また、幕府に海外情勢を伝える「オランダ風説書」を提出する義務も負っていました。
問14	答え 2 島原・天草一揆	1637年に九州の島原・天草地方で発生したこの大規模な反乱は、過酷な年貢の取り立てに加えてキリスト教徒への弾圧が原因でした。幕府はこの一揆を鎮圧した後、1639年にポルトガル船の来航を禁止するなど、鎖国体制を急速に固めることとなりました。